

平成28年度の取り組み状況について

1 医師不足状況等の把握・分析

(1)勤務医・開業医実態調査の実施

専門医等の資格保有者調査等により、県内の医師配置状況を明らかにし、県内医師不足状況等把握分析するため、「勤務医・開業医実態調査」(専門医等の資格保有者調査)を実施した。なお、県内病院回収率は76.6%であった。

2 医師不足病院の支援 ・ 医師のキャリア形成支援

(1)キャリア形成支援セミナーの実施

医学生に対し、地域医療の魅力を改めて認識させ、地域医療への意識付けや臨床研修に必要な基礎的な知識等を習得させ充実した臨床研修への動機付けを図る目的で「山梨県臨床研修医合同オリエンテーション」を実施した。(平成28年4月2日、3日)

(2)臨床研修指導医ワークショップの開催

県内における臨床研修体制整備のため、厚生労働省開催指針に基づく臨床研修指導医ワークショップを開催。

- ・開催日 平成28年11月5日、6日
- ・参加者 山梨大学医学部附属病院他5病院 27人
- ・講習会修了者数 27人

(3)地域枠学生のアンケート調査及び個人面談の実施

地域への医師の定着を図り、医学生のキャリア形成上の不安を解消する取り組みとして地域枠学生のアンケート調査及び個人面談を実施。

- ・アンケート調査
医師修学資金貸与者310人に対し実施(回答206人)
- ・個人面談の実施
実施日 平成28年12月13日～15日
対象者 山梨大学医学部医学科5年次生38人

(4)若手医師医療技術向上研修会の開催等

臨床研修医の医療技術向上のため、客観的臨床能力試験(OSCE)を実施。(平成29年2月11日実施 参加者数47人)

3 情報発信と相談への対応

(1)ホームページによる情報発信

県内医療情報を広く発信するため、地域医療支援センターホームページに、センター事業紹介、医学生向け情報等を掲載した。

(2)医学部進学セミナーの開催

将来の医師数増加に向け、医学部進学を目指す高校生への情報発信及び相談対応を強化するため、医学部進学セミナー(ジュニアドクター)を開催(平成28年7月29日、参加者数49人)。

4 運営委員会開催、地域医療関係者との協力関係の構築

(1)センターの運営を、医療関係者の理解の下に、効果的・効率的に進めるため、運営委員会を設置・開催。

- ・開催日 平成 28 年 7 月 21 日(木)
- ・委員構成 県医師会、県民間病院協会、県官公立病院等協議会、自治医大同窓会、県立中央病院、市立甲府病院、甲府共立病院、山梨赤十字病院、山梨大学医学部附属病院、県医務課
- ・出席者数 20 人
- ・議題 平成 27 年度の取り組み状況、平成 28 年度の取り組み、新専門医制度について

平成29年度の取り組みについて

1 医師不足状況等の把握・分析

県内病院の医師数について把握するため、県内全病院の診療科ごとの医師数調査を実施する。

2 医師不足病院の支援・医師のキャリア形成支援

(1)把握した医師不足状況等の情報については、医師の地域偏在や診療科偏在の解消に向けた取り組みへの検討材料として活用していくとともに、医療機関の機能・分化に対する地域ごとの取り組みにも活用してもらうよう情報提供を行っていく。

(2)新専門医制度について、研修医等への情報提供を図るための説明会を開催するとともに専門研修プログラムについて関係者と協議を行い、地域医療の確保が図られるよう調整していく。

①山梨県専攻医・初期研修プログラム説明会の開催

・開催日 平成29年6月30日

・参加者 研修医66人、学生29人

②山梨県専門医制度関係者連絡協議会の開催(8月開催予定)

(3)地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安を解消するため、次の取組等を実施。

①臨床研修指導医講習会の実施(11月)。

②地域枠医学生等への面談等を通じた医学生の将来の意向の把握。(9月～11月)。

③若手医師の定着促進を図るため、県内全臨床研修医を対象とした医療技術向上研修会を実施。(30年2月)

3 情報発信と相談への対応

(1)地域医療支援センターホームページにより、専門医プログラム情報等を発信。

(2)県内外の医師、医学生、高校生等からの相談に対応するためのセミナーを開催。

(3)収集・解析したデータの可能な範囲での公表により、医療関係者のみならず県民の医療問題に対する意識の啓蒙を図る。

4 地域医療関係者との協力関係の構築

センターを地域の医療関係者間の合意の下で効果的・効率的に運営するため、常設の運営委員会を開催。